

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、画像診断・核医学科では、本学で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題で利用する診療情報等の利用については、研究対象者の方の同意が得られていませんが、本学倫理審査委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 画像下治療（IVR）における拡張現実を用いた穿刺経路の可視化に関する研究

[研究対象者] 2021年1月～2025年12月までの間に、画像診断・核医学科にて画像下治療（経皮的針生検検査やドレナージ術等）を受けられた方

[利用している診療情報等の項目]

診療情報等：診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、併存疾患名、血液検査、画像検査、病理検査等

[利用の目的] （遺伝子解析研究：無）

針を刺して組織を採取する経皮的針生検や、膿等を体外に排出するためにチューブを挿入する経皮的ドレナージ術等の画像下治療（IVR）を実施する際に、タブレットパソコンや眼鏡型のモニターに穿刺経路を拡張現実（仮想空間の映像を体表に重ねて表示する手法）として表示させて可視化する事が可能か解明することを目的としています。手技（針を刺す事）は通常の日常臨床として従来の方で実施し、拡張現実が表示や計測のためのみに使用するため、新たに侵襲や負担を加えることはありません。

[利用期間] 倫理審査委員会承認後より2025年12月までの間（予定）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には匿名化処理を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

[研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

研究責任者：東京女子医科大学 画像診断・核医学科 教授・講座主任 坂井 修二

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 画像診断・核医学科 講師 森田 賢

電話：03-3353-8111（内線37212）（応対可能時間：平日9時～16時）

ファックス：03-5269-9247 Eメール：morita.satoru@twmu.ac.jp